

第10回全国高野球選手権青森大会第1日で、準々決勝2試合を行なわれ、弘前はるか球場で準々決勝2試合が行った。八戸軍は青森に10-3のгромコルドで勝利し、4強入りを決めた。三田は青森田に1-8のгромコルドで敗れた。

▽準々決勝
【弘前対青森】
八戸 1 弘前 8
入場券 1000
入場券 1000
入場券 1000

きようの試合
(取材班)

準々決勝

【**評**】八学光星は四回1死三塁、敵打で1点を加えると、その後は3連打で得点。六回には新谷翔の3点本塁打でリードをさらに広げ、試合を決めた。青森北は0－6で迎えた五回到3点を挙げて3点差としたが、六回以降は相手の堅守に阻まれた。

光星 6回一氣

さえる機動力
新谷翔3ラン

[illegible]

2回ハ学光星1死、左前打を放つ中村大悟

中村イップス乗り越え 初先発マスク、ヒットも

「今だ新鋭で、芝草マスケを動かさなくば、八幡屋の中村大悟、昨秋、思つてに体を動かさなぐな運動會を『イッピン』を主催。苦しい時間間味わつたが、この日は投手スズメロウ、ヒット放すところ、4強りに譲願した。中村は一人負け勝負さという気持ちではいられた」とほととし様言った。

イッピン二時はボクを後援されたから、それを後援調子、春季八幡地区大会出場者として、また同校、大悟は当初、初ベンチ入りを逃したいが大目前の負傷により大会直前に引替へられた。試合でも居失つたが、我々が奮闘して、優勝したことをあげたと笑顔を。「今もイッピンをやりた。」と蘭を燃やした。



10-3とする。弘前はるか夢球場

青森北反撃ムード断たれる


集点
 昨夏の連敗、今シーズン一敗
 で四回相手。結ばれたのは、
 コールドゲームに終わったが、
 粘り強け3点を返す見返すが、
 ひと昨からの成長も現す。
 初回、先発小嶋が盗塁が不安
 定な立ち上がりから押し出し
 で先制東京献上。四回には失
 策から通点点を許し、相手
 を勢ひかせ一気逆突き放さ
 された。その書に3ランを
 連続して反撃。ムードを断たれ
 ないで、
 ヤンスで五回、一亦満塁のチ
 ャンスをうつつた。暴投の間
 に三塁の池津から生還し一
 点を返すも、さうな点を追
 加した。大池は「ボールが
 れたのを見て、生懸命走っ
 た力をめめた。中山瑞希

焦点